



かながわ

# 議会だより

## 鎌倉市議会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

電話：0467(23)3000 内線 2448 FAX：0467(23)5825

鎌倉市議会ホームページ…………… [鎌倉市議会](#) 🔍 検索

メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

編集発行：鎌倉市議会広報委員会

## 平成29年1月臨時会(1月27日) 2月定例会(2月8日～3月22日) 平成29年度一般会計予算を修正可決

### ● 定例会等の概要

- 1月臨時会では、市長提出議案として「工事請負契約の締結について」ほか1件を可決、議員提出議案として「総務常任委員会への調査権の委任及び調査に要する経費について」ほか2件を可決しました。
- 2月定例会では、4名の議員が一般質問を、1名の議員が総括質問を行い、また各会派から代表質問が行われました。
- 市長提出議案として、現年度議案は、一般会計等補正予算8件を含む33件を可決し、教育委員会委員の選任議案、人権擁護委員の推薦議案に同意しました。新年度議案は、条例関係議案9件のほか6特別会計予算を可決し、一般会計予算を修正可決しました。
- 議員提出議案として「平成29年度一般会計予算の執行に関する附帯決議」ほか10件を可決、2件を否決したほか、請願1件、陳情4件を採択、陳情1件を不採択としました。

### ● 定例会等の主な動き

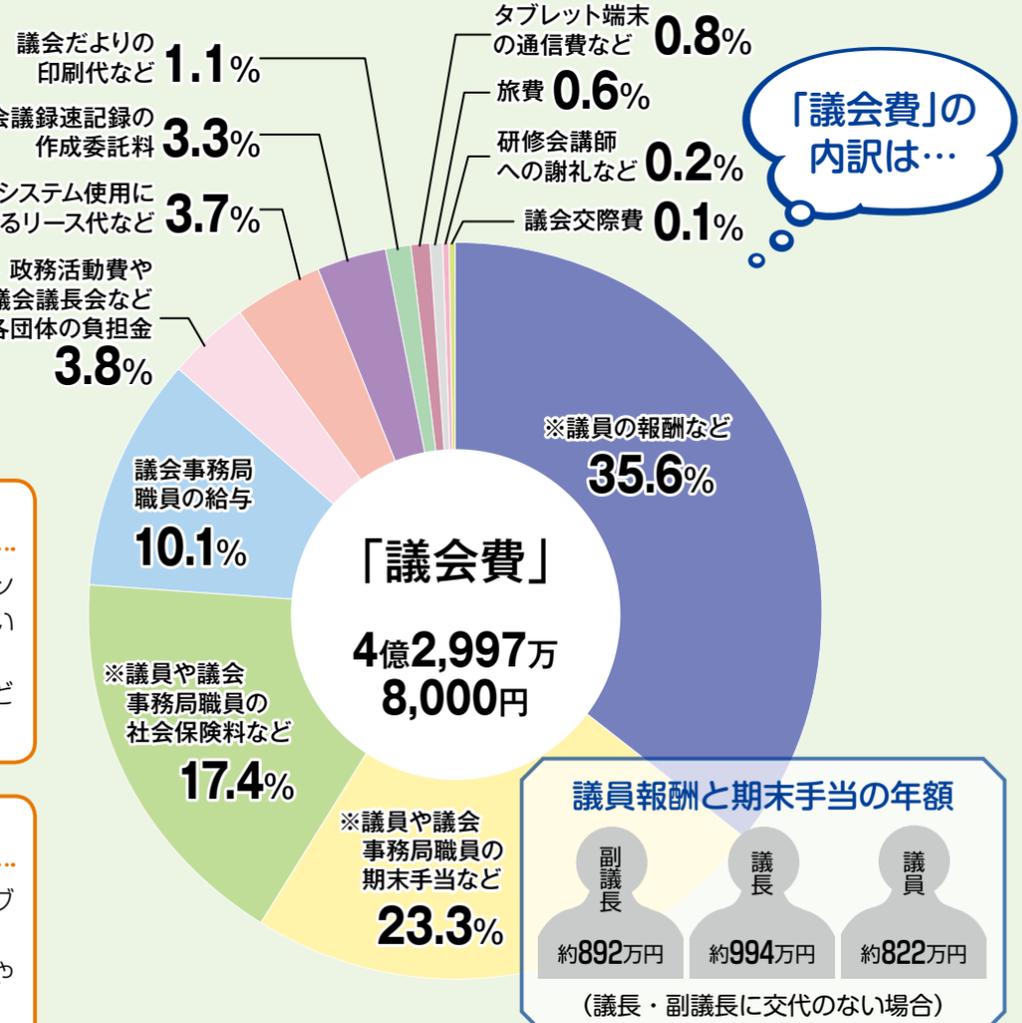
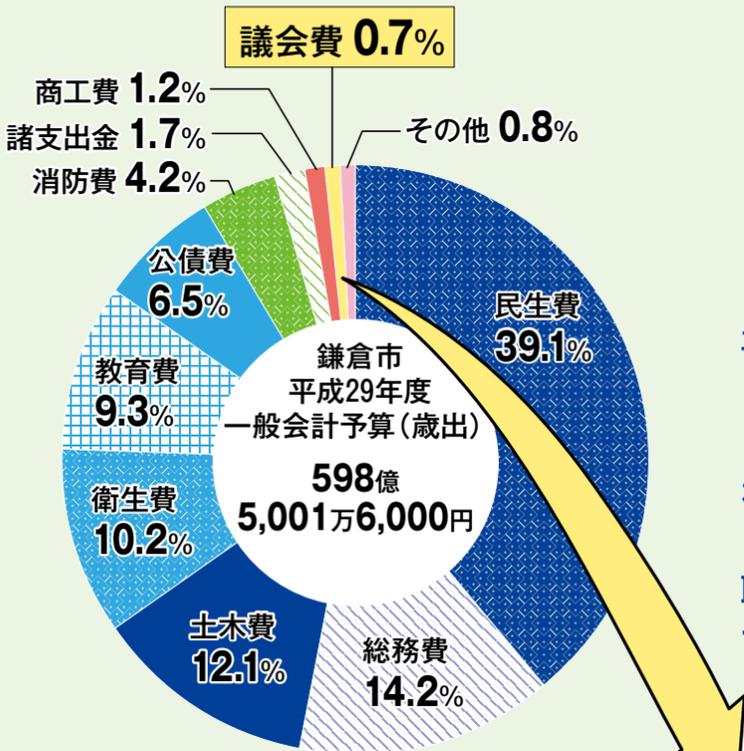
1月臨時会/本会議(1/27)	議案上程、採決	(6面)
2月定例会/本会議(2/8、9)	一般質問、議案上程、採決	(2・6面)
本会議(2/15～17)	代表質問、総括質問、議案上程、採決	(2・6面)
各常任委員会(2/20～24、28、3/10、21、22)	議案・陳情審査等	(3面)
本会議(3/3)	緊急質問、委員長報告、議案上程、採決	(6面)
予算等審査特別委員会(3/7～9、13～15)	新年度議案審査	(3面)
本会議(3/22)	緊急質問、委員長報告、議案上程、採決	(6面)

# 議会活動にかかる お金はいくら?

2月8日に開会した「2月定例会」では、市長から提出された平成29年度一般会計予算や特別会計予算などの予算議案について、「一般会計予算等審査特別委員会」を設置し、審査しました。

この「予算」には、鎌倉市が行う事業全てに必要な経費が計上されており、議会活動にかかる経費「議会費」も含まれています。

前号では、鎌倉市議会が「開かれた議会」を目指して行ってきた取り組みをご紹介しましたが、今号では、議会活動にかかるお金についてご紹介します。



例えば、こんなシステムを使っています!

政務活動費は議員一人当たり年額60万円

「議会費」の内訳は…

### 議会インターネット中継

鎌倉市議会では、議会での審査過程を公開するためにインターネットでの生中継配信や、録画した映像の配信を行っています。

この中継を実施するために設置しているカメラやマイクなどの機器リース代や委託料として年間約2,146万円。

### ICT会議システム

鎌倉市議会では、ペーパーレス化の推進等を目的として、タブレット端末を使用したICT会議システムを導入しました。

議員や議会事務局職員が使用するタブレット端末の通信費やシステムの使用料などとして年間約344万円。

### 議員報酬と期末手当の年額

副議長	議長	議員
約892万円	約994万円	約822万円

(議長・副議長に交代のない場合)

※在職議員数26名、議会事務局職員14名(再任用等含む)に係る支出(平成29年4月1日現在)

# 一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので、2月定例会では4名の議員が一般質問を行いました。

ここでは、議会広報委員会が事項別に整理した内容の一部を掲載しています。

一般質問の全文は、5月下旬作成予定の本会議録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

## バリアフリーについて

バリアフリーについて、次の質問が行われました。

質問：土日等に混雑が予想される鎌倉駅に、安全対策としてホームドアを設置する上での課題を聞きたい。

まちづくり景観部長：ホームドアの設置に当たっては、数億円の費用がかかること、一定のホーム幅が必要であること、また、列車によりドアの停止位置が異なることなどの課題がある。

質問：今後の、本市の取り組みについて聞きたい。

市長：JR東日本によると、鎌倉駅はホームドアの整備対象にはなっていないものの、国から、利用者が1日当たり10万人未満の駅であつても、駅の状態などを勘案した上で優先的な整備が必要と認められる場合は整備していくと示されている。土日等の混雑状況を見ると、早期のホームドア設置が望ましいことから、国の動きを見据えつつ、積極的に取り組んでいきたい。

質問：中央図書館や福祉センターへ行く道路には、視覚障害者の点字ブロックが

ないが、今後の対応を聞きたい。また、本市は狭い道路が多いため、歩道と車道を区分する白線の中に点字ブロックのようなものを入れることが可能かどうか聞きたい。

都市整備部長：鎌倉駅から公共施設等を結ぶ道路については、歩道が未整備の区間があることや、歩道が狭いことから点字ブロックを設置していない道路があることは認識している。このような場合、歩道と車道を区分する白線にポールを設置して歩行者の歩行空間を明確にした上で、その歩行区間内にシール状の点字ブロックを設置することを検討している。

今後、関連団体や地域住民の意見を伺いながら、安全な歩行空間の確保に取り組んでいきたい。

質問：バリアフリーについては、鉄道、道路、自転車等、いろいろな改善点があり、行政として一つ一つ改善していくべきだと思うが、いかがか。

市長：日常生活をはじめ、市民の皆様が不便に感じているご指摘を受け止め改善していくことが、誰でも安心して快適に暮らせるまちづくりを進める上で重要である。

## 一般質問項目一覧

- ①千 (無所属)
  - 1 介護について
  - 2 福祉行政について
  - 3 バリアフリーについて
- ②上島 寛弘 (公正)
  - 1 教育の在り方
  - 2 人事戦略と労務管理
  - 3 市長の政治姿勢等
  - 4 未来への投資として子育て支援の充実
- ③松中 健治 (無所属)
  - 1 防災・安全
  - 2 鎌倉の観光客への変化。体験型へ。
  - 3 鎌倉歴史文化芸術への新たな存在
- ④渡邊 昌一郎 (公正)
  - 1 第3期基本計画後期実施計画について
  - 2 弱者に対する取り組みについて
  - 3 松尾市長の政治姿勢について

## 重度障害者支援について

重度障害者の支援制度強化について、次の質問が行われました。

質問：介護給付費が国庫負担基準を超えた市町村に対する国の補助制度があり、都道府県がこの制度を取り入れることにより、国50%、県25%、市25%の財政負担で重度訪問介護を実施できるが、神奈川県はこの制度を取り入れていない。

市は、重度訪問介護をはじめとする障害者の介護行政をどうするつもりか。

健康福祉部長：障害者を対象とした重度訪問介護については、国の給付費に対する県の補助金制度の創設を、機会があることに神奈川県に対して要望している。

障害者の介護については、施設から地域生活への移行の方向性が国から示されており、障害者の生活を

る。ご指摘については、実施に向けて関係機関に働きかけるなど、実現に向けて取り組み、真の共生社会をつくりたい。

地域全体で支えるサービス体制を目指していく。

質問：津久井やまゆり園は、神奈川県が平成17年頃に指定管理者制度を導入してから、サービスの質も年々低下していったとのことである。

鎌倉市も最近福祉的な施設を指定管理者制度にしているが、この制度についてどう考えているのか。

同部長：健康福祉部で所管する指定管理施設のうち障害者支援施設である「鎌倉はまなみ」については、利用者の評価も高く、専門性を要する障害の特性に応じた支援が図られている。

今後も指定管理者に対して適正な職員採用、人事管理と併せ、職員の研修や資質向上に向けた取り組みの充実を求めることにより、利用者が安心して利用できる

## 総括質問

平成29年2月定例会から、新年度予算関係議案に対する無所属議員の議案質疑の機会として、新たに総括質問ができるようになりました。

無所属議員は一般質問から総括質問のどちらかを選択し実施することが可能です。

今定例会では竹田ゆかり議員が総括質問を実施しました。

## 請願・陳情の議決結果

2月定例会では請願2件、陳情13件が提出され、請願1件、陳情4件を採択、陳情1件を不採択としたほか、陳情1件を議決不要、陳情3件を継続審査、陳情3件を全議員配付としました。

特別障害者手当の受給申請で、たびたび却下となり、認定が遅れたことについて、真相を明らかにするとともに、再発防止と過去にさかのぼって被害者救済を求めるもの。

【採択した請願】

◆プラスチックフリーの街かまくらを目指して、ゼロ・ウェイストかまくらの理念のもと、リデュース(発生抑制)の取組みを市役所が率先垂範して実施する事を求める請願書

市がプラスチックのリデュースの取り組みを率先して実行していくことを求めるもの。

【採択した陳情】

◆児童保育施設の質を高めることを求める陳情

児童保育施設の生活環境の質、プログラム内容の質の向上を求めるもの。

◆荏柄天神参道の改修についての陳情

参道が未舗装のため、路面が甚だしく傷み、歩行に危険を伴うなど問題が生じていることから、改修について市に働きかけるよう求めるもの。

◆特別障害者手当申請時における受付拒否の真相究明について

特別障害者手当の受給申請で、たびたび却下となり、認定が遅れたことについて、真相を明らかにするとともに、再発防止と過去にさかのぼって被害者救済を求めるもの。

◆県営鎌倉団地跡地活用要望についての陳情

県知事に対し、公共性の高い施設建設用地として市が取得する意思を明確に示すよう議会に強く陳情するもの。

◆不採択とした陳情

◆平成29年度からの特別徴収額の決定・変更通知書に受給者の個人番号を記載する件についての陳情

参道が未舗装のため、路面が甚だしく傷み、歩行に危険を伴うなど問題が生じていることから、改修について市に働きかけるよう求めるもの。

◆特別障害者手当申請時における受付拒否の真相究明について

特別障害者手当の受給申請で、たびたび却下となり、認定が遅れたことについて、真相を明らかにするとともに、再発防止と過去にさかのぼって被害者救済を求めるもの。

◆県営鎌倉団地跡地活用要望についての陳情

## 1月臨時会を開催

緊急に議会の議決を必要とする案件が生じたため、1月27日に臨時会を開催し、市長から2件、議員から3件の議案がそれぞれ提出されました。提出された議案は、次のとおりです。

### 《市長提出議案》

- ◎工事請負契約の締結について(公共下水道(汚水)改築工事西部汚水幹線)
- ◎工事請負契約の変更について(砂押川沿い歩道整備工事)

議案では、いずれも総員の賛成により、原案を可決しました。

### 《議員提出議案》

- ◎総務常任委員会への調査権の委任及び調査に要する経費について
- ◎観光厚生常任委員会への調査権の委任及び調査に要する経費について

議案では、いずれも総員の賛成により、原案を可決しました。

◎社会福祉法人の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

社会福祉法人に対する全ての助成を本条例に適用するため、必要な事項を定めようとするもので、公布の日から施行し、本条例の規定は平成28年4月1日から適用しようとするものです。

議案では、多数の賛成により、原案を可決しました。

## 可決した意見書

2月定例会では、次の意見書提出および決議に係る議会議案を可決しました。なお、可決した意見書は、地方自治法第99条の規定に基づき、関係機関に送付しました。

### (意見書の提出)

- ・生活に支障を来している鎌倉市内の交通渋滞と鉄道の混雑解消を国と神奈川県に強く求める意見書
- ・子宮頸がんワクチンの定期接種を中止して、先進国で最も低いと言われている子宮頸がん検診受診率を引き上げようとする国に対して強く求める意見書
- ・重度訪問介護事業等訪問系サービスに対する支援の充実を求める意見書
- ・地域住民の平穏な生活を確保すべく、正月三が日やゴールデンウィークの特異日における江ノ島電鉄の混雑について、速やかな対策を求める意見書
- ・鎌倉市由比ガ浜4丁目商業施設計画に対して、鎌倉市民の生活の平穏を確保し、市民に寄り添った判断を求める意見書

### (決議)

- ・刑事訴訟法に基づく適正な手続を求める決議
- ・鎌倉歴史文化交流館条例の制定に係る附帯決議
- ・平成29年度鎌倉市一般会計予算の執行に関する附帯決議
- ・平成29年度一般会計予算における深沢地域整備事業の予算執行に係り、鎌倉市民の声を真摯に傾聴し、深沢地域整備の遅滞なき実現を求める附帯決議

(可決した意見書・決議の全文は、市議会ホームページをご覧ください)



# 平成29年度一般会計予算等を審査 一般会計予算を修正可決

## 1 予算・予算関係議案の提案

2月9日に開催された本議会において、市長から平成29年度の市政運営に対する所信と施策概要の説明が行われ、一般会計予算、6特別会計予算など、平成29年度予算関係議案16件が提案されました。主な内容は次のとおりです。

### (予算総額)

一般会計および6特別会計の合計／1144億3320万円(前年度比0.6%の増)

### (各予算規模)

一般会計／598億9670万円(前年度比1.5%の減)  
特別会計／下水道事業、大船駅東口市街地再開発事業、国民健康保険事業、公共用地先行取得事業、介護保険事業および後期高齢者医療事業の6特別会計合計で、545億3650万円(前年度比3%の増)

## 2 予算特別委員会の設置

2月17日に開催された本議会において、新年度予算等に対する各会派からの代表質問を終えた後に、特別委員会設置の動議により10名の委員からなる平成29年度鎌倉市一般会計予算等審査特別委員会(以下「予算特別委員会」)を設置し、予算関係議案16件の審査を付託しました。

## 3 予算特別委員会で審査(担当原局・理事者への質疑)

予算特別委員会では、付託された予算議案等について、市長が所信表明で述べている予算の内容はどのようなものか、限られた財源の中で、第3次総合計画第3期基本計画後期実施計画に位置付けられた諸事業をはじめ、市民生活に密着した事業や重点的かつ政策的な課題・施策がどのように予算に反映されているかなどの観点から、3月7日から14日にかけて、担当原局に対し、質疑を行いました。また3月15日には、施策の一部について市長への質疑を行い、ティアラかまぐららの運営に関する事、新焼却施設整備に関する事などについて見解をいただきました。

## 4 修正案の提出(一般会計予算)

理事者質疑の後、8名の委員から連名で、平成29年度一般会計予算の原案に対する修正案が提出されました。修正内容は、次のとおりです。

### ○観光費

審査に必要な資料として市を通じ再三要求したにもかかわらず、鎌倉市観光協会の平成28年度理事会議事録および就業規則の提出がなかったため、観光協会支援事業について審査することができず、地域が一体となった観光振興の推進に係る予算について議会として責任を持つて議決することができないことから、観光費のうち、鎌倉市観光協会運営費等補助金4668万4千円を減額。

## 5 予算特別委員会で採決

付託を受けた平成29年度一般会計予算など16議案の採決を行いました。その結果、一般会計予算は、修正案および修正部分を除く原案を可決、下水道事業特別会計予算をはじめとする6特別会計予算および鎌倉市本庁舎整備基金条例の制定についてなど9件の条例関係議案については、それぞれ原案の通り可決しました。

### ○歳入

歳入の減額に伴い、財政調整基金繰入金金を4668万4千円減額。

## 6 審査結果の報告

3月22日の本会議において、予算特別委員長から審査結果等が報告され、次の意見が付されました。

### ①避難対策推進事業について

津波避難路面シートなどの早急な修復作業が行えるよう、市民がスマートフォン等を利用して簡単に現場の状況を通報できるシステムの構築と、避難行動要支援者情報を活用した災害時の支援について地域間で差異がないよう、先進的な取り組み事例を共有し、共助の体制づくりを進めるよう十分な支援を求める。

### ②保育所の待機児童対策について

法務局跡地に整備予定の保育所の早期開設、計画的な施設の増設、また預かり保育等の情報収集・提供することにより保育ニーズとのマッチングを図ることができると期待を込めて求めます。

### ③新焼却施設整備事業について

新焼却施設の整備については、まず市長が先頭に立ち、誠意を尽くして対応するとともに、行政に対する不信感を取り除くよう、これまで以上に努力することを求める。

### ④史跡環境整備事業について

大町釈迦堂口遺跡は重要な文化財であるものの、十分な整備がされていないことから、平成29年度予算に調査費等が計上されたことから、文化財課を中心に関連課とも連携を取り、計画的に整備、維持管理などを行うことを求める。

## 7 本会議で採決

委員長報告の後、各会派の議員から、討論として、原案および修正案に対する賛否の意見が表明されました。その後、採決を行った結果、一般会計予算は修正案および修正部分を除く原案を多数の賛成により可決、また公共用地先行取得事業特別会計予算および「廃棄物の減量化、資源化及び処理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、多数の賛成により原案を可決、5特別会計予算および8件の条例関係議案は総員の賛成により可決しました。

活用した災害時の支援について地域間で差異がないよう、先進的な取り組み事例を共有し、共助の体制づくりを進めるよう十分な支援を求める。

### ④史跡環境整備事業について

大町釈迦堂口遺跡は重要な文化財であるものの、十分な整備がされていないことから、平成29年度予算に調査費等が計上されたことから、文化財課を中心に関連課とも連携を取り、計画的に整備、維持管理などを行うことを求める。

## 7 本会議で採決

委員長報告の後、各会派の議員から、討論として、原案および修正案に対する賛否の意見が表明されました。その後、採決を行った結果、一般会計予算は修正案および修正部分を除く原案を多数の賛成により可決、また公共用地先行取得事業特別会計予算および「廃棄物の減量化、資源化及び処理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、多数の賛成により原案を可決、5特別会計予算および8件の条例関係議案は総員の賛成により可決しました。

## 2月23日、24日、28日、3月21日および22日開催 審査した内容(議案18件、議会議案1件、陳情1件、報告事項等14件)

### 報告事項 鎌倉消防署腰越出張所改築工事の完了について

平成26年9月から実施していた鎌倉消防署腰越出張所の改築工事が完了し、平成29年3月1日から新庁舎での業務が開始となります。新庁舎は、鉄筋コンクリート造の3階建て、延べ面積632.99㎡で、腰越地区の鎌倉市消防団第22分団を併設し、1階は主に消防車両の車庫となり、2階は事務所および食堂・消防分団の待機室、3階は防災備蓄倉庫・消防職員の仮眠室、屋上は津波来襲時の緊急避難スペースとなっています。建物の特徴としては、この地区は津波浸水想定区域内にあることから、庁舎の外周にスロープを設け、車いすでも屋上に避難できる構造としたこと。また、この防災力を強化した新庁舎の完成に際し、市民に対し防災の関心をさらに高めていただくため、3月4日および5日に、庁舎の内覧会を実施するとの報告があり、委員会では総員により了承されました。

## 2月21日および3月21日開催 審査した内容(議案3件、請願・陳情4件、報告事項5件)

### 陳情第72号 特別障害者手当申請時における受付拒否の真相究明について

本陳情は、特別障害者手当の受給申請を行った際、担当課職員の対応や同課が作成する「福祉の手引き」の記載に問題があり、たびたび申請が却下となり、認定が遅れたことについて、真相究明、再発防止のための構造改革、過去にさかのぼった被害者救済を求めるものです。委員会では、本件の経緯や今後の改善に向けた担当課の説明、さらに市長から職員の意識改革についての決意が述べられたことを受け、慎重に審査した結果、「市長が述べた意識改革の決意について、その進捗を注視する意味で継続審査とすべき」「担当課の初期対応は、相談者の求めることをおもひやる意識が著しく欠けていたと言わざるを得ず、福祉とは何かという視点に立ち返り、職員一人一人の意識改革と専門知識習得のため、研修の充実等に努めていくべきである。また、過去にさかのぼった救済の可能性については、市が県に問い合わせることが確認できたことから、採決すべき」との異なる意見に分かれましたが、多数により結論を出すこととし、継続審査を主張した委員も加わった上で採決を行った結果、総員により採択されました。

## 観光厚生常任委員会

## 常任委員会

## 総務常任委員会

## 建設常任委員会

このほかに、新年度予算関係議案の予備審査を行いました。

## 教育こどもみらい常任委員会

## 2月22日、3月10日および22日開催 審査した内容(議案7件、請願・陳情6件、報告事項14件)

### 陳情第70号 荏柄天神参道の改修についての陳情

本陳情は、未舗装のため路面が傷み、歩行に危険が伴う荏柄天神参道の改修を求めるものです。市によれば、参道の整備については、これまでも住民からの要望もあり計画策定などに取り組んできたが、周辺住民の意見が分かれていることから、意見がまとまった上で整備すべきと判断している。今後は、住民間の合意形成を図るため、説明会の開催などにより整備の可能性を見定めて対応したいとの説明がありました。委員会では、「風情と安全が両立できると思われるが、強行的な整備は住民間にわたりが生じる可能性もあり、その推移を見守るため継続審査とすべき」「風情、景観と歩行者、交通の安全は大きなテーマであり、参道の劣化が進行する中、多くの住民の賛同もあるため、東京オリンピック・パラリンピック開催前の整備に向けて採決すべき」との異なる意見に分かれましたが、多数により結論を出すこととし、継続審査を主張した委員も加わった上で採決を行った結果、総員により採択されました。

## 2月20日開催 審査した内容(陳情1件、報告事項7件)

### 陳情第66号 学童保育施設の質を高めることを求める陳情

この陳情は、鎌倉市の学童保育施設である「子どもの家」が、子どもたちが多くの時間を過ごす場であることから、その生活環境とプログラム内容の質の向上を市に要望するものです。市では、平成27年4月実施の「子ども・子育て支援新制度」で、学童保育施設のニーズ量と質の双方の確保が求められていることから、入所児童数の増加によって施設が大規模化した一部の子ども会館・子どもの家に指定管理者制度を導入して運営を行っていること、また、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるように「子どもの家」と「放課後子ども教室」が一体となった「放課後子ども総合プラン」を平成30年度に深沢小学校で実施することを予定しており、次いで関谷小学校へと順次拡大していくとの説明がありました。委員会では、「放課後子ども総合プラン」を推進し、子どもたちの放課後等の生活環境を改善していこうとする市の取り組みを後押ししたいとの意見が出され、総員により採択されました。

# 各派代表質問

2月15日～17日の本会議において、平成29年度予算議案に対する各派代表質問が行われました。各会派の質問者は次のとおりです。

①鎌倉みらい  
(前川綾子議員)



②公明党  
鎌倉市議会議員団  
(納所輝次議員)



③鎌倉  
夢プロジェクトの会  
(高橋浩司議員)



④みんなの鎌倉  
(中村聡一郎議員)



## 新年度予算に対する各会派の評価と見解

### 後期実施計画の初年度に当たる平成29年度予算

平成29年度は、第3次鎌倉市総合計画第3期基本計画後期実施計画の初年度、かつ、第3期基本計画の折り返し地点として重要な年度です。鎌倉みらいでは、平成29年度予算において、重点事業や新規に計画された事業がしっかりと進められていくのかを質疑を通して確認し、一般会計予算外諸議案に賛成しました。

⑤神奈川ネットワーク  
運動・鎌倉  
(三宅真里議員)



⑥公正と法  
(上島寛弘議員)



⑦日本共産党  
鎌倉市議会議員団  
(吉岡和江議員)



## 鎌倉みらい

## 公明党

## 鎌倉夢会

### 市民に寄り添う市政運営を

公明党鎌倉市議会議員団は平成29年度一般会計予算の修正案外諸議案に賛成しました。

松尾市政2期8年の集大成となる平成29年度予算に対し、公約がどこまで達成できたのかという観点で検証を行いましたので、松尾市長の掲げた四つの項目ごとに評価と見解を述べます。

●市政運営について  
高齢化が進む中で、市民生活の維持向上、若年層の定住促進、産業振興や観光振興など将来に向けて多くの課題があります。平成29年度予算の審査で、これからは自治体にある行政の在り方では立ち行かないことを強く意識し、鎌倉の未来を確かなものにするための行政経営を進めるべきであることを指摘しました。

●環境政策について  
ごみの新焼却施設整備については、市長が地元住民の声を直接聴く機会を増やすべきであると指摘しました。

●健康政策について  
不妊・不育症治療費用の助成、小児医療費助成を中学3年生まで拡大、前立腺がん検診の開始、休日急患歯科診療所を在宅福祉サービスセンター内移設と障がい者歯科診療の実施などへの取り組みを評価しました。

●子ども達の居場所確保を！  
次に「子ども教育のまち」ですが、全体としては70%以上の達成率でした。

●発達支援事業のさらなる充実を求めて  
発達支援室は、課題のある子どもと保護者にとって安心して相談をすることができ、支援につながるための重要な窓口です。支援を求める件数の増加とともに、支援室のさらなる人材の確保を要望しました。

●子ども達の居場所確保を！  
次に「子ども教育のまち」ですが、全体としては70%以上の達成率でした。

●子育て支援について  
保育園の待機児童対策の解消に向け、由比が浜に建設中の保育園複合施設整備や旧法務局鎌倉出張所への保育施設整備が待たれます。子どもの家について、本年10月には今泉小学校内に、翌年度以降深沢小学校、関谷小学校各敷地内への整備を目指しており、小学校全16校での放課後子ども総合プラン実施に連動するものとして評価しました。鎌倉地域で病児保育が実施される一方、発達支援室の対象児童が増加傾向にあることから支援室の在り方を再構築すべきであるとしました。

●子ども達の居場所確保を！  
次に「子ども教育のまち」ですが、全体としては70%以上の達成率でした。

●多世代交流の場を  
腰越地域老人福祉センターの開設や青少年の居場所づくりにおいて、一世代に特化するのではなく、多世代で交流できる場という考え方を取り入れることを要望しました。

●子ども達の居場所確保を！  
次に「子ども教育のまち」ですが、全体としては70%以上の達成率でした。

●樹林管理事業の拡大  
これまで市内の対象樹林地を6分割して、1年に1地区ずつ行ってきた枝払い等の樹林管理事業を拡大し、毎年2地区ずつとしたことは、高く評価しました。

●子ども達の居場所確保を！  
次に「子ども教育のまち」ですが、全体としては70%以上の達成率でした。

●職員数適正化計画について  
第4次職員数適正化計画の実施について、減員ありきではなく、消防本部などの増員も排除せず、市民生活を支える体制を整えるための計画を進めるよう指摘しました。

●子ども達の居場所確保を！  
次に「子ども教育のまち」ですが、全体としては70%以上の達成率でした。

●コンプライアンスについて  
相次いだ不祥事の反省に立ち、全ての職員が法令順守の意識を強く持ち、意欲にあふれ、市民に寄り添う市役所の構築を求めました。

●子ども達の居場所確保を！  
次に「子ども教育のまち」ですが、全体としては70%以上の達成率でした。

●山崎の方々の心情に寄り添って！  
次に「いつまでも住み続けたいまち」でありますが、様々な防災施策を集中的に実施した事もあり70%以上の達成率

●子ども達の居場所確保を！  
次に「子ども教育のまち」ですが、全体としては70%以上の達成率でした。

(代表質問)

# みんな

## さらなる行革と着実な事業の実施を

みんなの鎌倉では、平成29年度の諸議案に対し、改革と未来への投資の観点から代表質問・特別委員会をたし、全ての議案に賛成いたしました。

### ●行財政改革について

昨年12月議会において松尾市長は機構改革案を提出し、その中に行革推進部を設置し、事業の取捨選択をすることとしたが、議案は撤回されました。しかしながら、行財政改革は常に継続されるべきものであり、真に必要な行政サービスを見極め、業務改善・庁内組織の検討等を進めていくよう要望しました。

### ●子どもに豊かな時間を

放課後子ども総合プランの実施が拡大されたことは評価するものであり、早期の全校実施を要望しました。また、待機児童や病児保育などの対応については、着実な実施を求めました。中学校給食が実現し、献立等の工夫がなされるよう要望いたしました。

### ●科学技術で減災を

IoTセンサーやドローンなど科学技術を駆使した減災の可能性を模索することも、避難行動要支援者支援制度などのソフト面での活動の充実を求めました。

### ●文化・観光行政について

文化財保護行政の充実と観光行政の質の向上を一体的に進めることが重要であると考

### ●ごみ処理行政について

懸案事項でもある廃棄物処理については、減量化・資源化が確実に進み、新焼却施設建設を含めた安定的な処理を市民の方々に示していく必要があると考えます。29年度はその重要な時期であることを

### ●生涯現役促進を

高齢者の雇用や、健康づくりは、増大している医療費や介護費などの抑制につながり、今後とも地域の中で、生涯現役が促進できるような取り組みを求めました。

### ●各種書類のコンビニ交付

マイナンバーカードの交付率が12・5%にとどまっています。コンビニ端末を活用したマイナンバーによる書類交付を急ぐ必要はありません。高齢化率が30%を超える鎌倉市は、身近な窓口で人によるサポートができる体制が一層求められます。

### ●災害対策

公衆無線LANシステムを災害対策として小学校5校に設置するとしています。福祉避難所等への水・食料・毛布等の基本的な備蓄品の整備、高齢者や乳幼児・アレルギー対応食の充実等、人の命に関わることに予算を使う方がもっと重要です。

### ●地域福祉

社会福祉法の改正で、社会福祉法人は地域において公益的な取り組みを行うこととされました。法人が、福祉車両を活用した買い物や外出支援、子ども食堂や居場所事業等を地域住民と協働する仕組みを提案しました。

### ●子育て支援

産前産後の家事・育児支援をこどもみらい部と健康福祉部が連携して進めることが重要です。また、保育所の待機

# 神奈川ネット鎌倉

## 人権を尊重した市民主体のまちづくり

神奈川ネットは、平成29年度予算審査には「人権を尊重した市民主体のまちづくり」をテーマに臨みました。しかし、賛成できる予算内容ではありませんでした。

### ●子宮頸がんワクチン

子宮頸がんワクチンに100人分の予算が付けられました。が、厚生労働省の「積極的な勧奨を控える勧告」が継続中で、昨年度の接種者は実人数3人、延べ7人とどまっています。勧告が解除される見通しはなく、予算の根拠がありません。被害者の救済に回すべきと指摘しました。

### ●ごみの開封調査条例

有料袋不使用のごみ、有料袋使用でも資源が混入しているごみについて、人物を特定し指導・勧告するために、ごみ袋の開封調査を可能とする条例の改正案が提案されました。開封の基準も決まっておらず、プライバシーを著しく

### ●緑地保全

鎌倉市は平成22年から緑地保全基金への積み立てをやめています。このままでは平成30年代に基金は枯渇すると緑政審議会が課題になりました。鎌倉のみどり・文化・伝統を守ってきた先達たちの意思を受け継ぎ、次の世代に伝えるために、継続的に努力することを求めました。

### ●懲戒制度の厳格化をせよ！

懲戒制度の厳格化を求めても、これまで放置したのが松尾市長。生活保護領収書を偽造し刑事告発された職員Kについても、解雇せず停職のみ。市職員労働組合委員長が公文書改ざんにも注意のみ。松尾市長の下では罪を犯してもクビにはなりません。

### ●天下一補助団体の高給是正

市の補助金に大きく依存する鎌倉市社会福祉協議会やシルバー人材センターの職員給

### ●松尾市長に改革は不可能！

地方の二世政治家の限界か。松尾市長は能力どころか、しがらみや利権を排除する勇氣も決断力もなく、副市長も部長も皆辞めています。市民受けはしても、実態は利権政治。予算賛成は信任と同義。よって予算案に反対しました。

### ●保育園待機児200人以上

「保育園落ちた」と、昨年待機児問題が大きな社会問題になりましたが、鎌倉市でも今春、昨年より多い200人以上の待機児が生まれました。特養ホームは建設中の施設が開所しても400床も足りません。党市議団は鎌倉東地区の遊休国有地を確保するなど、施設計画を具体化するために、用地確保の特別チーム

### ●大船・藤沢駅間の新駅建設

新駅建設の直接経費だけでなく、これまでの試算の1・5倍の160億円と見込まれました。が、いまだ神奈川県・藤沢市・新中学生入学準備金の前倒し支給

### ●市民との信頼損ねるごみ袋

松尾市政の失政で一定量のごみを市外で処理しています。が、それを減らすため、不適切な排出者を特定し指導するため開封しチェックする計画です。資源化率日本一の市民に背を向けるようなことはやめ、これまでの取り組みをさらに強めるよう求めました。

# 公正

## 決められない松尾市政 腐敗した利権市政を浄化

私達は行政を監視する議員としての責任を果たすべく、予算委員長職を獲得して議論をリードしました。結果、平成29年度予算修正案を提出し、可決され、血税を垂れ流し、松尾市政のしがらみと利権まみれの原案に、断固反対しました。次世代にツケを残さないのは当然、今の私達が泥をかぶってでも、徹底的に無駄を省いて子供達のために投資せねばなりません。そのためにも、松尾市長により腐敗した鎌倉市政の浄化が必要です。

### ●市職員の超高等待遇に反対！

単純労働職と法的に位置付けられる学校用務員、ごみ収集員、給食調理員の正規職員給与は年収800万円近く。一方で非正規の調理員は時給930円と最低賃金のみ。民間との給与格差はますます大きく、まさに公務員貴族です。私たちは唯一給与引き下げを主張。

### ●観光協会、補助金削除！

昨年の決算委員会でも追及したパート職員の雇止め、雇用契約書さえ作らないずさんな労務管理が発覚した観光協会に対し、松尾市長はあろうことか何ら反省もなく、人件費や一等地の家賃の補助金を計上。しかし、市民の代表の議会が要求した資料提出さえ、拒否する態度は許されないと議会側で全額削除。市も観光協会も重く受け止め、猛省せよ。

### ●緑地の利権化。松尾市長は、総額94億円超の浪費。

松尾市長は緑を残そうとしないで、買わなくても開発されない土地をどんどん買収し、総額94億円の浪費をしました。これには他会派は何ら異を唱えません。子供達のために待機児童ゼロや学力向上のための投資もしないことは看過出来ません。

### ●県内トップの財政力を市民の暮らしに生かして！

市の調査で、勤労市民一人当たりの給与収入が20年前より60万円も減収していることが分かりました。小・中学生の就学援助認定数は、10年間で2倍に増えて180人に、生活保護受給者も5年間で約100人も増えているなど、大変厳しい状況におかれています。

### ●高年齢者割引乗車制度を復活

高年齢者の自動車運転による交通事故が社会問題となり、道路交通法の改正で、免許証の返上が勧められています。鎌倉市は高年齢化率が県下でも高く、また交通不便地域もあることから、バス・モノレール・江ノ電などの公共交通機関の活用で、交通事故も未然に防ぐ意味からも、割引乗車制度の早期の復活と、充実を強く求めました。

### ●大船・藤沢駅間の新駅建設

新駅建設の直接経費だけでなく、これまでの試算の1・5倍の160億円と見込まれました。が、いまだ神奈川県・藤沢市・新中学生入学準備金の前倒し支給

### ●保育園待機児200人以上

「保育園落ちた」と、昨年待機児問題が大きな社会問題になりましたが、鎌倉市でも今春、昨年より多い200人以上の待機児が生まれました。特養ホームは建設中の施設が開所しても400床も足りません。党市議団は鎌倉東地区の遊休国有地を確保するなど、施設計画を具体化するために、用地確保の特別チーム

### ●大船・藤沢駅間の新駅建設

新駅建設の直接経費だけでなく、これまでの試算の1・5倍の160億円と見込まれました。が、いまだ神奈川県・藤沢市・新中学生入学準備金の前倒し支給

### ●市民との信頼損ねるごみ袋

松尾市政の失政で一定量のごみを市外で処理しています。が、それを減らすため、不適切な排出者を特定し指導するため開封しチェックする計画です。資源化率日本一の市民に背を向けるようなことはやめ、これまでの取り組みをさらに強めるよう求めました。

### ●大船・藤沢駅間の新駅建設

新駅建設の直接経費だけでなく、これまでの試算の1・5倍の160億円と見込まれました。が、いまだ神奈川県・藤沢市・新中学生入学準備金の前倒し支給

### ●保育園待機児200人以上

「保育園落ちた」と、昨年待機児問題が大きな社会問題になりましたが、鎌倉市でも今春、昨年より多い200人以上の待機児が生まれました。特養ホームは建設中の施設が開所しても400床も足りません。党市議団は鎌倉東地区の遊休国有地を確保するなど、施設計画を具体化するために、用地確保の特別チーム

# 日本共産党

## 県内トップの財政力を市民の暮らしに生かして！

市の調査で、勤労市民一人当たりの給与収入が20年前より60万円も減収していることが分かりました。小・中学生の就学援助認定数は、10年間で2倍に増えて180人に、生活保護受給者も5年間で約100人も増えているなど、大変厳しい状況におかれています。

### ●高年齢者割引乗車制度を復活

高年齢者の自動車運転による交通事故が社会問題となり、道路交通法の改正で、免許証の返上が勧められています。鎌倉市は高年齢化率が県下でも高く、また交通不便地域もあることから、バス・モノレール・江ノ電などの公共交通機関の活用で、交通事故も未然に防ぐ意味からも、割引乗車制度の早期の復活と、充実を強く求めました。

### ●大船・藤沢駅間の新駅建設

新駅建設の直接経費だけでなく、これまでの試算の1・5倍の160億円と見込まれました。が、いまだ神奈川県・藤沢市・新中学生入学準備金の前倒し支給

### ●保育園待機児200人以上

「保育園落ちた」と、昨年待機児問題が大きな社会問題になりましたが、鎌倉市でも今春、昨年より多い200人以上の待機児が生まれました。特養ホームは建設中の施設が開所しても400床も足りません。党市議団は鎌倉東地区の遊休国有地を確保するなど、施設計画を具体化するために、用地確保の特別チーム

### ●大船・藤沢駅間の新駅建設

新駅建設の直接経費だけでなく、これまでの試算の1・5倍の160億円と見込まれました。が、いまだ神奈川県・藤沢市・新中学生入学準備金の前倒し支給

### ●市民との信頼損ねるごみ袋

松尾市政の失政で一定量のごみを市外で処理しています。が、それを減らすため、不適切な排出者を特定し指導するため開封しチェックする計画です。資源化率日本一の市民に背を向けるようなことはやめ、これまでの取り組みをさらに強めるよう求めました。

### ●大船・藤沢駅間の新駅建設

新駅建設の直接経費だけでなく、これまでの試算の1・5倍の160億円と見込まれました。が、いまだ神奈川県・藤沢市・新中学生入学準備金の前倒し支給

### ●保育園待機児200人以上

「保育園落ちた」と、昨年待機児問題が大きな社会問題になりましたが、鎌倉市でも今春、昨年より多い200人以上の待機児が生まれました。特養ホームは建設中の施設が開所しても400床も足りません。党市議団は鎌倉東地区の遊休国有地を確保するなど、施設計画を具体化するために、用地確保の特別チーム

### ●大船・藤沢駅間の新駅建設

新駅建設の直接経費だけでなく、これまでの試算の1・5倍の160億円と見込まれました。が、いまだ神奈川県・藤沢市・新中学生入学準備金の前倒し支給

### ●市民との信頼損ねるごみ袋

松尾市政の失政で一定量のごみを市外で処理しています。が、それを減らすため、不適切な排出者を特定し指導するため開封しチェックする計画です。資源化率日本一の市民に背を向けるようなことはやめ、これまでの取り組みをさらに強めるよう求めました。

### ●大船・藤沢駅間の新駅建設

新駅建設の直接経費だけでなく、これまでの試算の1・5倍の160億円と見込まれました。が、いまだ神奈川県・藤沢市・新中学生入学準備金の前倒し支給

### ●保育園待機児200人以上

「保育園落ちた」と、昨年待機児問題が大きな社会問題になりましたが、鎌倉市でも今春、昨年より多い200人以上の待機児が生まれました。特養ホームは建設中の施設が開所しても400床も足りません。党市議団は鎌倉東地区の遊休国有地を確保するなど、施設計画を具体化するために、用地確保の特別チーム

# 議決された主な議案等

※下記以外の議案等への賛否については、議会事務局へお問い合わせください。

○：賛成 ー：反対 退：退席

会派名	議員名	議案名	議決結果	鎌倉市議会	公正と法	みんなの鎌倉	プロジェクトの会	無所属																						
※会派は、政策を中心とした同一の理念を共有する2人以上の議員で構成されます。本市議会では、会派に属する議員は代表質問を行ったり、議会運営委員会の委員となり、議会運営に関する協議を行うことができます。	※○は会派の代表者 ※中澤克之議員は議長のため、採決には参加していません。			高橋 浩司	日向 慎吾	永田 磨梨奈	小野田 康成	河村 琢磨	久坂 くにえ	中村 聡一郎	上島 寛弘	中澤 克之	長嶋 竜弘	渡邊 昌一郎	大石 和久	西岡 幸子	納所 輝次	池田 実	前川 綾子	山田 直人	吉岡 和江	赤松 正博	三宅 真里	保坂 令子	千 一	竹田 ゆかり	岡田 和則	松中 健治		
新年度	第119号	平成29年度鎌倉市一般会計予算(上/修正案 下/修正部分を除く原案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	第126号	鎌倉市本庁舎整備基金条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第128号	鎌倉歴史文化交流館条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第132号	鎌倉市小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第133号	鎌倉市廃棄物の減量化、資源化及び処理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案	第42号	子宮頸がんワクチンの定期接種を中止して、先進国で最も低いと言われている子宮頸がん検診受診率を引き上げることを国に対して強く求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第45号	重度訪問介護事業等訪問系サービスに対する支援の充実を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第46号	地域住民の平穏な生活を確保すべく、正月三日が日やゴールデンウィークの特異日における江ノ島電鉄の混雑について、速やかな対策を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	第75号	県営鎌倉団地跡地活用要望についての陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 平成29年1月31日付けで、渡邊昌一郎議員が「公正と法」に入会。

※2 平成29年2月15日付けで、「公正と法」の代表者は上島寛弘議員に変更。

2月定例会では、議員から15件の議案が、市長から49件の議案がそれぞれ提出されました。主な議案の内容および議会における議決結果は次のとおりです。

## 《議員提出議案》

**重度訪問介護事業等訪問系サービスに対する支援の充実を求める意見書の提出について**

国は国庫負担基準の上限設定の見直しを行い、いずれは国の制度として国内において平等にサービスを受けられる体制を整えるとともに、多数の都道府県に倣って、当該補助制度を構築し、市町村の超過負担を生じさせないよう県に強く求めるものです。

議案では、総員の賛成により、原案を可決しました。

## 《市長提出議案》

### 条例関係議案

**鎌倉市本庁舎整備基金条例の制定について**

将来的な鎌倉市役所本庁舎の整備に要する財源に充てる鎌倉市本庁舎整備基金を設置し、その管理に関し必要な事項を定めるために、条例を制定しようとするものです。

議案では、多数の賛成により、原案を可決しました。

### 補正予算

一般会計補正予算(第5号、第6号)および6特別会計補正予算は、それぞれ総員の賛成で原案を可決しました。

**一般会計補正予算(第5号)**

財産管理事務および小学校施設整備事業などの所要の経費を追加するとともに介護保

険事業特別会計および下水道事業特別会計への繰入金などを減額しようとするもので、歳入歳出ともに5302万4千円を増額し、補正後の総額は622億8011万1千円となります。

## 《一般会計補正予算(第6号)》

道路維持修繕事業費2件および道路新設改良事業費について、債務負担行為の追加をしようとするものです。

## 《下水道事業特別会計補正予算》

歳入歳出ともに9億7251万4千円を減額し、補正後の総額は82億679万2千円となります。

## 《大船駅東口市街地再開発事業特別会計補正予算》

歳入歳出ともに311万円を増額し、補正後の総額は6231万円となります。

## 《国民健康保険事業特別会計補正予算》

歳入歳出ともに7億9522万4千円を減額し、補正後の総額は218億1260万9千円となります。

## 《公共用地先行取得事業特別会計補正予算》

歳入歳出ともに1365万4千円を増額し、補正後の総額は3億7865万4千円となります。

## 《介護保険事業特別会計補正予算》

歳入歳出ともに5億3873万3千円を減額し、補正後の総額は161億6510万円となります。

## 《後期高齢者医療事業特別会計補正予算》

歳入歳出ともに5408万円を増額し、補正後の総額は52億9198万円となります。

## 教育委員会委員

教育委員会委員に、次の方を選任することについて、議会では総員の賛成により同意しました。

## 人権擁護委員

人権擁護委員の任期満了に伴う候補者として、次の方を法務大臣に推薦することについて、議会では総員の賛成により同意しました。

- 渡邊 武二氏(常盤在住)
  - 東山 勉氏(大町在住)
  - 岡崎美奈子氏(手広在住)
  - 渡邊 義忠氏(城廻在住)
- 任期は、平成29年7月1日から3年間です。

## 全員協議会

3月30日に議会全員協議会を開催し、市長から次の報告を受け、質疑を行いました。

**鎌倉市本庁舎整備方針について**

本庁舎は、本市の防災中枢的機能を果たす施設の一つであることから、「現在地建替え」「現在地延長寿命化」「その他の用地への移転」について、市民対話により市民意見等を取り入れながら、鎌倉市本庁舎整備方針策定委員会において検討してきた。

このたび同委員会からの「移転を選択する」との提言を受け、本市としては「移転して整備する方針」とした。

なお、整備に係る経費については、財政負担軽減のために、公共施設の集約・複合化や事業手法等を積極的に検討していくとともに、今後も市民、地域との協議プロセスを大事にして取り組んでいく。

## 連合審査会の調査報告を了承・ラファエル会前理事長の告発について可決

昨年12月から観光厚生常任委員会総務常任委員会連合審査会において調査を行ってきた「社会福祉法人ラファエル会の施設管理について」については、参考人への意見聴取や証人尋問などを経て、調査の最終報告書がまとめられました。

報告書には、調査経過として、同法人の施設管理上の問題点や今後の委託事業先としての適切性を検証するため、より強制力のある地方自治法第100条第1項の「調査権」の委任を受け、調査を進めてきたこと、また調査結果として、施設管理上の不適切な事案が多数明らかになるとともに、労務管理上の問題や、前理事長による法人の私物化など速やかに改善されるべき数多くの課題が見いだされたこと、理事長交代により同

法人が新たな体制となったことを踏まえ、議会としては、課題解決に向けた動向を注視すべきと考えていること、市は障害者福祉部門等で多数の事業を委託する立場、また多額の補助金を支出する立場として、その適切性を確保するためにも、これまで以上に関わりを深め、指導等を行っていくことを求めることなどが記載され、併せて同法第100条第9項の規定に基づき、同法人の前理事長を、証人尋問時の証言拒否および虚偽証言ならびに記録提出拒否で告発すべきであることについても盛り込まれました。

## 編集後記

この号をもって4年前に選ばれた議員による議会広報は最終号です。市民の皆様にとって、この議員を選んで良かったと思うことが出来る4年間だったでしょうか。今号が発行された頃には既に議会には新しい顔ぶれです。市民の皆様におかれては、選んで終わりではなく、投票によって候補者に信託し権限を与えた主権者の責務として、議会を注視し、市長や議員をよく監

## 議会広報委員会

- 委員長 保坂 令子
- 副委員長 永田磨梨奈
- 委員 西岡 幸子
- 委員 前川 綾子
- 委員 渡辺 隆
- 委員 上島 寛弘
- 委員 吉岡 和江